

広報 かわづ

October 10

2018年 No.554



命を守るために

(9月1日 町総合防災訓練 河津中学校体育館)

マチイロで
広報かわづ配信中!





石井 悠嗣 (総務課防災係)
7月27日から8月4日にかけて、広島県呉市へ災害派遣。

危険なときは逃げて 自分の命を守ることが大切

私が配属された広島県呉市の安浦地区は、呉市のなかでも被害の大きい地区のひとつで、JR安浦駅周辺では床上浸水以上の被害が多くあり、山間部では土砂崩れで集落がまるごと流されてしまう被害がありました。

現地では災害見舞金の受付業務を任せられ、全壊や半壊など家屋の被害に応じた手続きの説明や申請書類の受付を行いました。また私がいた安浦市民センターは避難所になっていて、多くの人々が避難していました。実際の避難所生活はピリピリとした空気で、長期にわたる避難所生活の身体的疲労や心労が伝わってきました。

土砂災害対策で設置してあった柵を突き破って土砂が流出していた現場を見たときは衝撃を受けました。大規模な自然災害では災害対策をしても防ぐことはできないということ、大規模な災害が予想される場合は逃げて自分の命を守ることが大切だと感じました。



豪雨による土砂災害で土砂に埋まった家屋 (広島県呉市)



AEDと人形を用いた応急救護訓練



県看護協会による応急処置法講習 (逆川公民館)



給仕車の説明を聞く参加住民

Interview 「自分で守る」



窪田 隆さん
陸上自衛隊駒門駐屯地
第一戦車大隊
第一中隊長

非常時に備え、家庭で準備できるものは常備しておきましょう。ライフラインがなくなったときに、食料などが必要になります。家庭での避難経路をおさえることも重要です。



毛布で作った担架を持ち上げて見せる自衛隊員

町総合防災訓練が9月1日、町内各地区で行われました。自主防災組織による実践的な訓練を通して「自らの命は自ら守る、自らの地域はみんなですべて守る」という防災意識を高めました。

自分の命は自分で守る

町内各地区で防災訓練

9月1日の防災の日に合わせて、河津町総合防災訓練が行われました。今年は悪天候となりましたが、約2700人が参加しました。

8時30分の大規模地震発生サイレンを合図に、各世帯があらかじめ決めてある避難地に避難した後、情報伝達訓練や消火訓練など、各地区ごとに訓練が行われました。

会場型訓練で学ぶ

河津中学校体育館では、田中自主防災会と下峰自主防災会、消防団、町職員、陸上自衛隊が協働し、会場型訓練が行われました。訓練では、陸上自衛隊の指導による応急救護訓練や、下田地区消防組合

応急処置法の講習

の指導によるAED応急救護訓練が行われました。逆川公民館では、県看護協会の災害派遣ナースによる応急処置法の講習が行われました。逆川地区は土砂崩れなどで災害時に孤立したときを想定し、防災意識を高めるために県看護協会へ講師を依頼しました。講習では、三角巾の応急処置法や身近なビニール袋・ラップを使った応急処置法を学びました。

check3

非常持ち出し品をチェック

1次持ち出し品 (災害発生後すぐに持ち出すもの)

- 飲料水 携帯ラジオ 懐中電灯 貴重品 応急医療品 タオル
- ヘルメット 生理用品 マスク 軍手 非常食料 (乾パンや缶詰、チョコレート、インスタント食品など)

2次持ち出し品 (災害が落ち着いたら持ち出すもの)

- 飲料水 (1人1日3リットルが目安) 非常食料 (1人7日分が目安) 洗面用具 寝袋 雨具 ラップ・アルミホイル ガムテープ など

Interview 「自分で守る」



中川 舞香
(町保健師)
県看護協会災害派遣ナース研修生として参加

非常持ち出し袋の中身には期限が切れているものも多いので確認をしてください。応急処置に使えるビニール袋やラップなども入れておくと安心です。

check2

台風・大雨時の情報サイト

県のインターネットサイト「サイポスレーダー」では、雨量や水位情報、土砂災害警戒情報、河川監視カメラの映像などを見ることができます。県内の河川の水位、雨量、防災、気象情報を知りたいとき、最新の情報を入手できます。

パソコン・スマホから <http://sipos.pref.shizuoka.jp/>
携帯電話から <http://sipos.shizuoka2.jp/m/>

check1

防災メールの登録を

町の災害や防災、行政情報などを迅速に受け取れる防災メールです。災害時の貴重な情報源となるので、登録してください。

受信拒否設定などでメールが受信されない場合、各携帯会社のサイトか販売店にお問い合わせください。



QRコード

2

河津町町制施行60周年記念大会

第3回 河津フラワートライアスロン大会

問 企画調整課 ☎34-1924

と き **11月11日(日)**
 9時～ 河津浜海岸スイムスタート



▲バイクで疾走する選手(昨年)

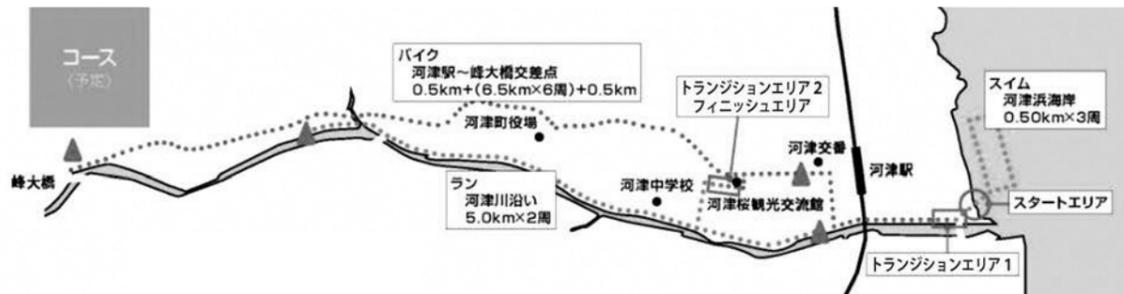
■競技内容

水泳1.5km、自転車40km、マラソン10km 合計51.5km

交通規制

時 間 **9時～12時ごろ**
 場 所 河津駅北口付近～峰大橋交差点までの町道

交通規制中は車両の通り抜けができませんのでご注意ください。県道14号(谷津交差点から峰大橋)などへの迂回にご協力をお願いします。当日は広報車で交通規制の開始と解除をお知らせします。



3

第37回河津町民文化祭

問 町文化協会事務局 ☎32-0070

多彩な作品が並びます
展示部門



▲展示部門の作品(昨年)

と き **11月3日(土)～4日(日)**
 9時30分～16時 ※4日は15時30分まで
 ところ **南小学校体育館**

■出品予定

文芸、俳句、短歌、書道、水墨画、絵画、油絵、版画、手芸、押し花、草木染め、陶芸、工芸、写真、フラワーアレンジ、ハワイアンキルト、絵本、ペーパークラフトアート、お茶席(3日のみ)、体験コーナー(4日のみ)など



▲舞台部門の演出(昨年)

日ごろの練習成果を発表

舞台部門

と き **11月18日(日)**
 12時30分～(11時30分開場)
 ところ **南小学校体育館**

■出演予定

フラダンス、舞踊、子ども太鼓、尺八の演奏、オカリナの演奏、合唱、空手の演舞、河津中学校吹奏楽、稲取高等学校新体操部、ストリートダンス、南中ソーランなど

1

町制施行60周年記念&河津ふれあいまつり

問 企画調整課 ☎34-1924

と き **10月28日(日)**
 ところ **河津バガテル公園(当日入場無料)**

60周年記念式典

■スケジュール

10時～ 記念式典・表彰式
 11時～11時30分 記念演奏会

「伊豆フィルハーモニー管弦楽団メンバーによる室内楽コンサート」演奏会は入場自由です。

※当日は、混雑が予想されます。ご来場は乗り合わせまたは臨時無料バス(河津駅⇄河津バガテル公園間)を運行しますのでご利用ください。

河津町勢要覧 2018

「人と地域、みんなの想いでつくる河津の未来。」

町制施行60周年に合わせ、まちの概要や魅力をもとめた「町勢要覧2018」を制作しました。「人と地域、みんなの想いでつくる河津の未来。」をテーマに、写真、年表、統計資料でこれまでの分野ごとに町の現在(いま)の「河津力」と町政の動きを紹介しています。

町勢要覧は、A4判で40ページ。町の視察やイベントなどで参加者に配るほか、役場企画調整課で配布しています。



▲河津町勢要覧2018

河津ふれあいまつり

■時間

9時30分～14時

■出店予定

地場産品などの直売
 わさびグルメ、サザエのつぼ焼き、田舎寿司など
 飲食物の販売
 手作り雑貨の販売
 輪投げや射的のゲームコーナー
 とんとんコーナー(子どもたちの日曜大工)
 健康コーナー(福祉関係団体の出店)
 無料マッサージ体験 など

■特別出店

【姉妹都市】長野県白馬村
 手打ちそば、りんご、お米、おやきの販売
 【姉妹商工会】愛知県新城市
 五平餅、新城茶などの販売

■イベント予定

第26代ミス伊豆の踊り子披露
 稲取高等学校吹奏楽部による演奏会
 ダンスなど

10/1～11/30まで
 秋バラまつり開催中!



▲河津バガテル公園で開催します

まちの出来事

筏場地区が最優秀賞

かわづ花の会 町内花壇コンクール

かわづ花の会（細川平吉会長）は8月23日、町内花壇コンクールを開催しました。コンクールには町内7地区の応募があり、かわづ花の会役員や花の会地区班長らが審査を行いました。

今年は気温が高く、乾燥する日が続きましたが、どの地区も日頃の水やりなどを工夫し、色彩豊かな花壇となりました。最優秀賞に筏場地区、優秀賞に下佐ヶ野地区、町長賞に湯ヶ野地区が選ばれ、かわづ花の会副会長から賞状が授与されました。



写真上・最優秀賞に輝いた筏場地区の花壇

写真左・審査を行う細川会長



赤ちゃんを優しくマッサージ

ベビーマッサージ教室

ベビーマッサージ教室が9月5日、保健福祉センター教養娯楽室で行われ、乳児の親子10人が参加しました。教室では、藤邊久美助産師（ふじべ助産院）を講師に迎え、マッサージを通じた親子の絆を深める方法を学びました。オイルを使って赤ちゃんの体全体を優しくマッサージすると、赤ちゃんもお母さんも自然と笑顔になっていました。



赤ちゃんに優しくマッサージをするお母さん

やきものづくりに取り組む親子



オリジナルのお皿づくり

親子やきものづくり教室

親子やきものづくり教室が8月25日、河津中学校技術室で行われました。教室には、子どもとその保護者20人が参加し、町内の陶芸同好会（杉井啓子会長）の指導の下、やきものづくりに取り組みました。子どもたちは保護者と一緒にお皿やコップなど、さまざまな形の陶器を作りました。

完成した作品は11月の町民文化祭で展示されます。

Topics

大正から平成を歩む12人をお祝い

百歳以上長寿者を訪問

岸重宏町長とシニアクラブ河津の山本虎雄副会長は9月18日、敬老の日を迎え町内に住む百歳以上（大正8年4月1日以前生まれ）の長寿者を訪問しました。本年度新たに百歳を迎える山本うた子さん（見高入谷）、鈴木あいこさん（笹原）、藤沼ハルミさん（下峰）、土屋すづ子さん（見高入谷）、鈴木巳世子さん（見高浜）、山田みや子さん（上佐ヶ野）にお祝金と記念品を贈りました。岸町長は「これからもお元気



お祝いの言葉を述べる岸町長と野田とりさん



記念品を受け取る町内最高齢105歳の片岡梅雄さん

で幸せに暮らしてください」と一人一人に声をかけて長寿を祝福しました。また百歳以上の長寿者（9月15日現在、浦川まささん（101歳） 〓 天子平、古山正代さん（105歳） 〓 上佐ヶ野、鈴木まつさん（101歳） 〓 大堰、萩原久次さん（100歳） 〓 見高浜、野田とりさん（104歳） 〓 逆川、片岡梅雄さん（105歳） 〓 湯ヶ野の6人には、記念品が贈られました。このほか町敬老事業として、本年度米寿（88歳）を迎える68人に、町から記念品のお米券または座布団が贈られ、町助成事業として各地区主催の敬老行事が開催されました。

親子で楽しく食育を学ぶ

おやこの食育教室

河津町健康づくり食生活推進協議会（島崎公子会長）によるおやこの食育教室が9月8日、保健福祉センター調理実習室で行われ、幼稚園年少児から小学4年生までの親子8組が参加しました。食育の力や食べることの大切さを学んだ後に、おにぎらずやアップルパイなどを作りました。料理をしながら親子で楽しく食育について学びました。



一緒に楽しく食事作りをする親子

マップを見ながらワークショップを行う参加者たち



IC周辺の魅力を再発見

伊豆縦貫自動車道IC地域振興ワークショップ

伊豆縦貫自動車道IC地域振興計画ワークショップが9月2・8日、保健福祉センターで行われIC周辺地区住民ら約40人が参加しました。ワークショップは、将来のIC周辺の地域振興計画策定に向けて、地域住民や大学生などでまち歩きを行い、地域の魅力や課題を整理する目的で開催されました。マップや現地を見ながら、地域の魅力や課題について話し合いました。



図書館だより

H30.10
No.186

【開館時間】
9:00～18:00 土・日は17時まで
【休館日】月曜・祝日・月末日
【問い合わせ】
町立文化の家図書館 ☎34-1115

http://www.town.kawazu.shizuoka.jp/library/

図書館カレンダー 10月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31	27	28	29

■は休館日です。本の返却は返却ボックスへ。

平成30年度 上半期ベストリーダー

平成30年度上半期にたくさん読まれた本やDVDを紹介します。

一般書	崩れる脳を抱きしめて 知念 実希人/著
屍人荘の殺人 今村 昌弘/著	
かがみの孤城 辻村 深月/著	
おらおらでひとりいぐも 若竹 千佐子/著	
星の子 今村 夏子/著	
定年オヤジ改造計画 垣谷 美雨/著	
A X 伊坂 幸太郎/著	
児童書	しずくちゃんのなぞなぞクイズブック わだ ことみ/原案
びょういんのおばけずかん なんでもドクター 斉藤 洋/作	
ざんねんないきもの事典 [正] 今泉 忠明/監修	
絵本	ばけバケツ 軽部 武宏/作
恐竜トリケラトプスと巨大ワニ 黒川 みつひろ/作絵	
はなかつぱがんばれ! アゲルちゃん あきやま だだし/作	
DVD	・トムとジェリーシリーズ ・まいごはだあ〜れ? ・がんばるもん

「ホッと一息 本と一息」 10/27～11/9は秋の読書週間です



読書の時間は、忙しい日常の中でホッとできる本と自分だけの大切なひと時。そんな思いが込められた今年の秋の読書週間の標語です。

読書週間にちなんで大人の「図書館へ行こうカード」をカウンターで配布します。11月1日から29日まで、本を借りる時にカードをご提示ください。スタンプ3つで粗品をプレゼントします。



館長のつぶやき...

「井の中の蛙大海を知らず」は中国の古典『莊子』の一節である。(蛙)と(河津)が同音で、このフレーズには何とはなしに引っかかってしまう。大海を知らない事は充分自覚済みの所へ、揶揄のように言われると、傷に塩を擦りこまれたような思いになる。ところで、これには続きがある。「大海の広さを知らずとも青い空を知る」そう呟けば、志の高さに思わず上を仰ぎたくなる。高く澄んだ青い空の季節がやってきた。

新着図書案内

ほかにも新着図書があります。貸出中の場合は予約できます。

書名(一般書)	著者名	出版社
不道德お母さん講座	堀越 英美	河出書房新社
全国2954峠を歩く	中川 健一	内外出版社
新カドク式 生ごみでカンタン土づくり	門田 幸代	学研プラス
世界一使える 筋トレ完全ガイド	荒川 裕志	日本文芸社
名もなき王国	倉数 茂	ポプラ社

書名(児童書)	著者名	出版社
わたしのくらし世界のくらし	マット・ラマス/作・絵 おおつかのりこ/訳	汐文社
空飛ぶ救命救急室 ドクターヘリの秘密	和氣 晃司	彩流社
古事記-日本のはじまり-	斉藤 洋/文 高島 純/絵	講談社
みんなでドキドキ -日本一周旅行-	サンリオ	JTB パブリッシング
みえるとかみえないとか	ヨシタケシンスケ	アリス館



幼稚園児と交流する優月さん

MY DREAM 44

夢は医療保育士

平川 優月さん
ひらかわ ゆづき
河津中学校3年



私の将来の夢は、医療保育士になることです。私が医療保育士という仕事を知ったのは最近のことです。それまでは、医療保育士という仕事があることを知りませんでした。私は、将来について看護師か保育士になりたいと思っていました。人を助ける仕事をしたいけど、子どもが好きだから子どもに関わる仕事もしたいと迷っていました。そんな時にインターネットで医療保育士という仕事の存在を知りました。医療保育士とは病気やけがなどで入院している子どもの保育をする仕事です。私はこの職業を知ったとき、すぐに「この仕事をやりたい。」と思いましたが、それから医療保育士という仕事についていろいろ調べてみました。調べていくうちに、この仕事をやりたいという気持ちはさらに大きくなりました。

夢を実現するために私はまず、保育士の仕事を体験しようと思い、夏休みのボランティアに参加しました。保育園に行っただけで三回目でしたが、初めて知ることがやぶことがたくさんありました。まだまだ専門的な知識が少ないので勉強していきたいです。また、学校の勉強も大切になるので頑張っていきたいです。



世界認定！ 伊豆半島ジオパーク通信

No.4 郷土に誇りを持とう



まちのジオ ▲釜滝(河津七滝) 伊豆半島各地の多くの滝はマグマが作り出した柱状節理です

自分たちの生まれ育った場所は貴重な場所です！

Q. ジオサイトの河津七滝に行ってきました。昔の火山灰が積もったきれいな模様で、硬そうな黒い岩もありましたが、どのようにしてできたんですか？

A. 伊豆半島南部は海底火山の地層がむき出しになっているところが多いです。中部は、伊豆半島が本州に衝突した後に噴火した天城山、だるま山、大室山などの陸上火山に、北部は富士山や箱根火山に覆われています。

楽寿園(三島市)や割狐塚稲荷(長泉町)では富士山から流れ出た三島溶岩を観察すること

ができます。硬い柱のような岩は柱状節理といわれ、火山のマグマが冷えて固まってできたものです。硬くて浸食されにくいので、周りが削られてもそそり立つ形で残ります。代表的なものには爪木崎(下田市)や河津七滝があります。

自分たちの生まれ育った場所がどのようにしてできたのかを知ることは大切なことです。郷土が世界認定されるほど貴重な場所だということを誇りに持ちましょう。



伊豆半島ジオパークの情報は、公式ウェブサイトのほか、Facebookやtwitter、インスタグラムでも発信されています。ジオパーク公式HP

問 伊豆半島ジオパーク推進協議会 ☎0558-72-0520

- 行政
- 財政
- 防災
- 消防
- 企画
- 福祉
- 子育て
- 介護
- 保険
- 健康
- 議会
- 窓口
- 税務
- 建設
- 水道
- ☑産業
- ☑教育

町では将来の小学校のあり方について「河津町学校教育環境整備委員会」で話し合いを進めています。今年1月から8月にかけて、各小学校や各園の保護者、町民を対象に懇談会などを行い、未来の学校のあり方についてたずねる要望カードを配布しました。集まった154枚の要望カードの主な内容を紹介します。

要望カード回収数		154枚		
総受領数と要望の傾向				
要統合	要現状	その他	合計	
124	9	21	154	
施設別受領数と要望の傾向				
施設	要統合	要現状	その他	合計
さくら幼稚園	30	1	2	33
東小学校	24	5	1	30
西小学校	7	1	1	9
南小学校	57	1	16	74
わかば保育園	6	1	1	8
合計	124	9	21	154

統合を望む主な理由

- ・多くの仲間と学習させたい。1学級あたりの適正人数がある。
- ・児童数が少なくなっている現状では、統合した方がよい。
- ・幼稚園が統合していて、卒園後に小学校が分かれるのは不自然ではないか。
- ・多くの友達に交わり、さまざまな考えに触れることができる。学習にも生きる。
- ・条件が整えば統合はやむを得ない。

現状維持を望む主な理由

- ・少人数の方が児童に目が届く。
- ・学校の伝統行事がなくなる。(白馬交流や梅採りなど)
- ・自宅から歩いて通えるところに学校があってほしい。
- ・少人数の方が児童同士に濃密な関係が生まれる。



未来の小学校のあり方への要望 1月19日～8月31日@要望カード収集

町政 Pick Up

8月 → → → 9月

ふれあい町長室

次回開催日 10月29日(月)
13時30分～15時30分

予約受付期間 10月22日(月)～26日(金)

対象 河津町民。1人20分程度。団体での予約はできません。職員が立ち会います。

☎ 予約電話 企画調整課 ☎34-1924



▲加藤樹木医の講義を聞く受講者

「平成30年度河津桜守人の会主催技術講習会」が9月3日に行われ、河津桜守人の会会員やふるさと案内人などが受講しました。

講習会は河津桜守人の会アドバイザーの加藤正通樹木医を講師に迎えて「河津桜の育て方」をテーマに▼河津桜の現状▼河津桜に発生する病害

虫▼桜の剪定方法などの講義が行われました。講義は桜の剪定方法を中心とし、受講者は剪定の意義や必要性、行っではならない剪定の仕方などを学びました。質疑応答では、桜の育て方で普段疑問に思うことなどが出されました。今後は桜の剪定の実践講習会を11月に行う予定です。

河津桜の育て方を学ぶ 9月3日@役場ふれあいホール

保健のお知らせ

健康相談および母子健康手帳交付

日時 10月15日(月)、11月5日(月)
13時30分～15時30分

場所 保健福祉センター

持ち物 ・妊娠届出書(病院で配布された場合はご持参ください。)
・個人番号カードまたは通知カード
・身元の確認ができるもの(写真付きでない場合は2種類ご持参ください)
・印鑑

育児相談

子育てには悩みがつきもの…、一人で悩まないで相談してください。

日時 11月6日(火)
10時～11時30分

場所 保健福祉センター
ふれあいホール

対象者 子育て中の保護者

内容 身体測定、離乳食や子どもの食事に関する相談、育児相談
歯科相談

持ち物 母子健康手帳

のびのび発達検査(要予約)

日時 11月26日(月)

場所 保健福祉センター 相談室2

2カ月に1回、児童相談所心理司による精神発達精密検査と個別相談を行っています。利用したい人は健康福祉課まで連絡してください。

河津町24時間電話健康相談ダイヤル

育児・医療・健康・介護について
専門スタッフが相談に応じます
☎0120-560-655 (年中無休)

高齢者のインフルエンザ予防接種

インフルエンザは、急な発熱や全身の倦怠感、関節の痛みなどを特徴とする感染症で、特に高齢者は肺炎など重症化することがあります。

町では、高齢者を対象としたインフルエンザ予防接種の費用の一部を助成しています。対象者には個別に通知します。

☎ 健康福祉課 ☎34-1937

●今月のテーマ

賀茂地域の地産地消レシピ②

健康福祉課 ☎34-1937

ねばねば三兄弟の冷やしそば

【提供】河津町健康づくり食生活推進協議会

こんにちは、河津町健康づくり食生活推進協議会です。今回は「ねばねば三兄弟の冷やしそば」を紹介します。そばに季節の野菜や納豆をのせることで、ビタミンやたんぱく質を一度に摂ることができ、一皿でバランスのよい食事になります。また、ネバネバ食材を使うことで、かけつゆがからみやすくなり塩分控えめでも美味しく、のどごしがいいので食欲がない時でも食べやすくなります。



材料(2人分)

- そば(乾) 160g
- オクラ 4本(32g)
- 長芋 80g
- 納豆 1P(50g)
- 細ネギ 大さじ2(10g)
- 練りがらし 小さじ2/5(2g)
- トマト(1cm角) 40g

★かけつゆ

- めんつゆ(ストレート) 120ml
- マヨネーズ 小さじ2(8g)
- 練りゴマ(白) 小さじ2(10g)

■1人分栄養量

エネルギー449kcal
たんぱく質 19.3g
脂質 10.4g
塩分 2.3g

※具は好きなものをのせて、アレンジしてみてください

作り方

- ①オクラはガクの部分を落とし、40～50秒間茹でて冷水にとり、小口切りにする。長芋は皮をむき、おろし金です。Aは混ぜておく。
- ②かけつゆを作る。マヨネーズと練りゴマをボウルに入れ、めんつゆを少しずつ加えて溶くようによく混ぜる。
- ③そばは袋の表示時間どおりにゆで、冷水でよく洗い水気をきる。
- ④そばを器に盛り、①と混ぜたAとトマトをのせてかけつゆを入れてよくあえる。

■対象者

- ①10月1日現在65歳以上の人
- ②60歳以上65歳未満の人で心臓、腎臓または呼吸器の機能障がい、ヒト免疫機能障がい、身体障害者手帳1級程度の疾患を持つ人

■実施期間

10月1日(月)～12月28日(金)

■自己負担金

2千円(接種料から自己負担金を差し引いた金額を町が負担します)

■接種方法

予防接種を行う時は、事前に医療機関へ予約し、接種予約票(個別通知同封)を持参してください。

※町から通知した医療機関一覧以外で予防接種を希望する場合は、事前に健康福祉課健康係までご連絡ください。

ひとの動き

戸籍だより

(8月1日～31日届出)



※このコーナーに掲載を望まない場合はお申し出ください。

人口と世帯

(9月1日現在)

人口	7,315人	前月比(-5)
(男)	3,553人	
(女)	3,762人	
世帯数	3,331世帯	前月比(-7)

相談

身近なこと生活相談へ

日時・場所

10月17日(水)、11月7日(水)

10時～15時

保健福祉センター ボランティア団体室

☎社会福祉協議会

☎34-1286

10/15～21は行政相談週間

行政に対する要望や苦情、意見などを聞き、解決に向けて促進を図るのが行政相談です。行政相談の日程は、広報かわづの「暮らしの情報」でお知らせします。(秘密厳守・無料)

☎町民生活課窓口係

☎34-1932

女性の人権ホットライン

～ひとりで悩まず、相談してください～
夫やパートナーからの暴力、職場でのセクシャルハラスメントなどに困っていたら、お電話ください。

期間 11月12日(月)～18日(日)

平日 8時30分～19時

土日 10時～17時

相談ナビダイヤル ☎0570-070-810

☎静岡地方法務局

☎054-254-3555

日本年金機構出張相談

日時・場所

10月19日(金) 河津町役場(要予約)

9時30分～11時30分、13時～14時

電話予約をしてください。

☎健康福祉課保険年金係 ☎34-1937

介護の相談窓口

介護でお困りの人、お気軽にご相談ください。

日時・場所

毎月 第1・3土曜日 10時～15時

サンシニア河津 相談室

☎サンシニア河津

☎32-3203

お知らせ

2018年漁業センサスにご協力を

11月1日現在で「2018年漁業センサス」を実施します。「漁業センサス」は漁業の生産構造や就業構造を明らかにし、漁村・水産物流通・加工業などの漁業を取り巻く実態と変化を総合的に把握することを目的に、5年ごとに行う大規模な調査です。

漁業の現状を知り、将来を考えるための大切な調査です。ご協力をお願いします。

☎企画調整課企画調整係 ☎34-1924

最低賃金が858円に改正

静岡県内の事業場で働く(パート・アルバイト含む。)すべての労働者に適用される「静岡県最低賃金」が改正され、10月3日(水)から「時間額858円」になりました。

特定の産業には特定(産業別)最低賃金が定められています。お問い合わせは静岡県労働局賃金室またはお近くの労働基準監督署までお願いします。

☎静岡県労働局賃金室

☎054-254-6315

下田クレジット保証金還付

協同組合下田クレジットが取り扱っていた商品券をお持ちの人は「債権の申し出」をすることで発行保証金の還付を受けることができます。

期間 10月31日(水)まで

申出 東海財務局への郵送または静岡財務事務所(静岡市)へ来庁。商品券、印鑑、申出書(郵送の場合のみ必要。東海財務局または下田市役所産業振興課で入手可能)、委任状(商品券保有者以外の方が来場する場合のみ必要。入手方法は申出書と同様)

☎東海財務局理財部金融監督第4課

☎052-951-2494

石廊崎灯台の一般開放

普段は公開していない石廊崎灯台や敷地内の一般開放を行います。

日時 10月27日(土) 10時～15時

場所 石廊崎灯台(南伊豆町)

- 内容 ①石廊崎灯台および敷地内の一般開放
- ②灯台月機器などの展示・デモンストレーション
- ③灯台写真・資料展示
- ④ミニ制服試着
- ⑤海上保安関連のパンフレット配布
- ⑥灯台・巡視船・航空機のパークラフト配布

※業務都合および天候などにより実施できない場合があります。

☎下田海上保安部交通課

☎23-0145

全国地域安全運動実施

10月11日(木)～10月20日(土)まで「全国地域安全運動」が実施されます。下田警察署では、特殊詐欺被害防止や空き巣、忍込み被害防止を重点に防犯活動を行います。

架空請求のハガキやメールが増加中

・「総合消費料金が未納です」といったハガキに注意

・「有料動画サイトの利用料金が未納です」といったメールに注意

空き巣や忍込み被害にあった家の半分以上が無施錠

・在宅中でも鍵をかけましょう

・防犯砂利などの防犯グッズの活用を

☎下田警察署管内防犯協会

☎27-2766

◆ 今月の納税 ◆

後期高齢者医療保険料3期、介護保険料4期 10月31日(水)が納期です。

☎健康福祉課 ☎34-1937

国民健康保険税6期、町県民税3期 10月31日(水)が納期です。

☎町民生活課 ☎34-1928

出張がんよろず相談

県立静岡がんセンターでは、県民のがんに関する総合相談窓口として「よろず相談」を設け、電話や対面で毎月1000件以上の相談に応じています。

今回は、地域住民のために専門スタッフが地域に出向く「出張がんよろず相談」を実施します。

日時 11月27日(火) 13時～16時

場所 下田市役所

対象 賀茂地区の住民で、がんに関する相談を希望する人

内容 専門スタッフによる対面相談(医師、看護師、ソーシャルワーカーなど2～3人のチームが患者や家族からのがんに関する疑問や不安、悩みを聞き、問題を解決する手助けをします。)

予約 11月5日(月)～11月16日(金) 8時30分～17時(土日祝を除く) ※先着5組まで

☎055-989-5392

(県立静岡がんセンター相談予約専用ダイヤル)

☎県立静岡がんセンター

☎055-989-5222

浄化槽の法定検査を

浄化槽は、家庭からの生活排水をきれいな水に浄化して、地域の快適な生活環境を守る役割を担っています。

浄化槽法では保守点検(年3回以上)、清掃(年1回以上)、法定検査(年1回)が義務付けられています。特に、静岡県の法定検査受検率は、全国的にみても低いです。私たちの身近な水環境を守るために向上させていく必要があります。必ず法定検査を受検しましょう。

検査申込先

一般財団法人

静岡県生活科学検査センター

☎054-621-5863

☎賀茂健康福祉センター

☎24-2053

ごみの持ち込みができません

エコクリーンセンター東河では、改修工事に伴い、11月5日(月)から12月19日(水)までごみの焼却を停止します。この期間の燃えるごみは、全て他の市町で焼却してもらうため、次のとおり持ち込みを制限します。

①燃えるごみは、可燃物用指定袋などに入れて持ち込んでください。

②草木などは、必ず可燃物用指定袋に入れて持ち込んでください。

③粗大ごみは、できるだけ持ち込まないようお願いします。

なおこの期間のうち11月16日(金)から11月19日(月)の4日間は、一般ごみの持ち込みもできません。

※町のごみ収集については通常どおり行います。

皆さまにはご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。

☎エコクリーンセンター東河

☎0557-95-7111

里親になりませんか

さまざまな事情によって家庭で養育されることが難しい子どもを、自分の家庭に迎え入れ、温かい愛情と正しい理解を持って養育する人のことを「里親」と言います。子どもたちは、温かい家庭生活を提供してくれる里親を求めています。

里親になるには

・子どもの養育について理解と熱意を持ち、豊かな愛情を持っていることが何より大切です。

・県が実施する研修を修了することや、経済的に困窮していないことなどの要件が必要です。

里親になったら

・児童相談所が面会や交流を繰り返し、養育をお願いする子どもを決定します。

・養育中は、養育に必要な経費が公費で支給されます。

☎賀茂児童相談所 ☎24-2038

河津町教育講演会

オリンピック女子バレーボール
元アメリカ代表選手がやってくる！

《講演テーマ》
Anything is possible
～ 不可能を可能に ～

《講師》
ヨーコ・ゼッターランド



【とき】
平成30年11月20日(火)
13時30分～

【ところ】
南小学校 体育館

【入場料】無 料

講師プロフィール

1969年3月24日、アメリカ(サンフランシスコ)生まれ。6歳から日本で育つ。中学、高校時代はバレーボールで全国大会、世界ジュニア選手権で活躍。早稲田大学では、チームを関東大学リーグ6部から2部優勝にまで導いた。その後、単身渡米し、アメリカナショナルチームのトライアウトに合格。アメリカ代表としてバルセロナ五輪で銅メダル、アトランタ五輪で7位入賞を果たしている。

現在は、スポーツキャスターとして各種メディアへの出演のほか、バレーボール教室、講演など幅広く活動している。

さくらアカデミー

古文書入門講座
(6/7～7/12)

「古文書入門講座」を開講し、9人が参加しました。講師は、下田市史編さん委員の高橋廣明さんです。古文書の基礎をしっかりと学びました。



▲基礎からしっかりと学習

予告1
秋の健康体操教室

春に好評だった健康体操教室の秋バージョンが開催されます。

とき 10/15～11/12(毎週月曜日)
19時30分～20時30分

ところ 南小学校体育館

講師 齋藤文子先生
(若がえり教室だんだん代表)



▲春の健康体操教室の様子

予告2
親子料理教室

町健康づくり食生活推進協議会の皆さんと親子で料理を学ぶ講座です。

とき 12/8(土) 9時30分～

ところ 保健福祉センター
調理実習室



▲候補選手説明会

ニュースポーツ教室

B & G ミニテニス教室
(7/10～7/31)

「B&Gミニテニス教室」を開催し、河津町スポーツ推進委員半田さんの指導のもと小学生から大人まで16人がスポーツを楽しみました。



▲後半には試合も行いました

ここにこファミリークラブ

親子やきものづくり教室
(8/25)

河津中学校技術室で「親子やきものづくり教室」が行われ8組22人の親子が参加しました。河津町陶芸同好会(杉井啓子代表)の指導で、マグカップやお皿など思い思いの陶器を製作しました。作品は、11月の町民文化祭に展示する予定です。



▲陶芸同好会のアドバイスをもらいながら制作する親子

12月の本番に向けて練習開始!

Start!

12月1日(土)に静岡市で開催される「静岡県市町対抗駅伝競走大会」の河津町派遣選手団が練習を開始しました。本年度は公募により、34人の候補選手が集まりました。本番の12月に向けて、週1回の練習、他市町との合同練習、競技会への参加を重ね入賞を目指します。



①チェーンソーで丸太の玉切りに挑戦
②火おこしを学び薪を入れて観察
③夕食のカレー作り
④みんなで協力してテント張り

初秋の風を感じながら バガテル公園でキャンプ

小学4～6年生が参加する「ふるさと緑の少年団」里山野外活動・キャンプが、9月15日・16日にかけて、河津バガテル公園で行われました。キャンプは昨年度と同様に、NPO法人豆游義塾に事業を委託し実施しました。

当日は、「里山かんばつ体験」と「自然の中の観察」の2グループに分かれて活動しました。「里山かんばつ体験」では、里山について学習し、その後チェーンソーを使用した丸太の玉切りに挑戦しました。団員たちは、慣れないチェーンソーに緊張しながらも、それぞれがすぐにコツをつかんでいました。「自然の中の観察」では、風土の森を歩き、どのような昆虫、植物がいるのかを学習しました。実際にさまざまな種類のドングリを採集し、講師の人に見分け方を教えてもらいながら観察をしていました。

団員たちは2日間の活動を通して、自分たちのふるさと河津の自然について学習するとともに、班のメンバーと協力して活動することの大切さを学びました。



家庭教育「春風学級」の講座

kawa-jin

かわづの



明るい声と優しい笑顔が印象的な松下れい子さん。
幼稚園の教諭、園長を経て退職後は、町の家庭教育支援員や学習支援員として活動しています。誰もが気軽に悩みや話をする事で少しでも気持ちが楽になったらいいな、という思いから支援員としての活動を始めました。友達関係で悩んだり、不安だった子どもたちと関わりを持つ中で「先生に話を聞いてもらえてよかった」と言われた時は本当にうれしかったです。

家庭教育支援員について尋ねると「子育てで大切なことは、子どもとたくさん会話をすることや、親の思いのままに行動させるのではなく、子どもの思いに寄り添い受け止めてあげること。失敗を経験することで気付くこともたくさんあります。子どもに自信を持たせてあげてください」と話してくれました。

趣味はハワイアンキルト作りで、針を持つことがストレス解消のひとつになっていくそうです。今後は、地域の人や子どもたちのために何かしたいと思いい「子どもからお年寄りまで誰もが気軽に一緒に楽しい時間を過ごせるような居場所作りができたらいいですね」と素敵な夢を語ってくれました。

【取材】植田 友香さん（民間広報協力員）



河津町家庭教育支援員

松下 れい子さん

まつした れいこ
長野 63歳

前さくら幼稚園園長。退職後、園や学校などで子育て講座を開催する「家庭教育支援員」や小学校の「学習支援員」として子どもたちに寄り添った支援をしています。

人との繋がりを大切にしたい

ちよんちよん

最近では全国各地での大規模な自然災害がニュースを騒がせています。総合防災訓練に参加したときに「いざというときに備えて日ごろから家庭で持ち出し品などの準備をしておくことが大切です」「災害が発生したときには、地域の

皆さんと協力して助け合いましょう」と陸上自衛隊の皆さんが話していました。いつ何が起るかわからないなかで、災害が発生したときに自分の命を守るには、普段から防災の意識を持たなければと思います。(S)

姉妹都市 長野県白馬村通信

2018 FISサマーGPジャンプ白馬大会



2018 FISサマーGPジャンプ白馬大会

8月24日（金）、25日（土）の2日間で、今年で16回目となる「2018 FISサマーGPジャンプ白馬大会」が開催されました。

台風の接近が危ぶまれる中での大会となりました。小林陵侑選手が素晴らしいジャンプを披露し2戦連続の優勝を飾り、会場からは盛大な歓声があがりました。また、同時開催されたNBS杯女子白馬サマージャンプ大会（ラージヒル）においては、伊藤有希選手が素晴らしいジャンプを披露し、優勝を飾り大会5連覇を果たしました。